

お子さんの “見え方”チェック!

監修 京都府立医科大学眼科学教室 講師 稗田 牧 先生

近視のお子さんが普段どのように見えているのか、

気になったことはありませんか？

授業中、黒板の文字はどのように見えているのでしょうか。



近視の程度による見え方を
確認してみましょう

OPEN



視力検査結果※の違いによる

A判定相当

[視力1.0以上]



文字が
はっきりと見えています。



お友達の顔、表情まで
よく見えています。

B判定相当

[視力0.7~0.9]



小さめの文字は見えにくくなり、
前後から想像して
文章を読んだりします。



見え方が
少しぼやけてきます。

* 実際の見え方には個人差があります

見え方の違いをご確認ください。

C判定相当

[視力0.3~0.6]



大きめの文字も
見えにくくなります。



お友達の表情や視線が
どこにあるのかわかりにくく、
相手の感情が
読み取りにくくなります。

D判定相当

[視力0.2以下]



隣の文字との境目がわからず、
文字であるのかもわかりません。



お友達の顔がほとんど見えず、
誰かの区別もつきにくくなります。



気になることがあれば、
眼科の先生に相談しましょう



近視は5～15歳頃の成長期に特に進行する可能性があります。**成長期に進行を抑えることが大切です。**

学校での視力検査の結果※が、**左右どちらか片方でもBCD判定の場合、眼科受診をお勧めします。**

- ・近視以外の原因による視力低下の可能性もあります。
- ・近視は急に進むこともあるため、過去に眼科を受診した人も対象です。

※学校で用いられる370方式視力測定法による判定

WEBでは違うシーンの見え方もご確認いただけます。

二次元バーコードからアクセス ➡

